

社会・文化・教育



キーワード：メディア、広報、ナショナリズム

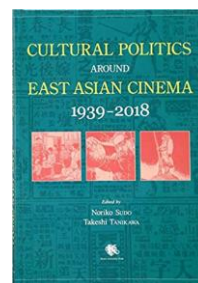
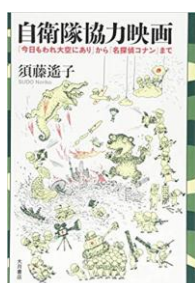
軍事広報、ナショナルな文化に関するメディア研究

現代社会学部 現代社会学科 教授
須藤 遙子 SUDO Noriko

研究の内容

「自衛隊協力映画」というジャンルを開拓・設定して以来、メディア論や文化社会学をベースとして自衛隊や在日米軍などの軍事広報を主たる対象に研究を続けてきた。自衛隊が「優しさ」や「真面目さ」を全面に出すいわば「消極的な広報」であるのに対し、在日米軍広報では「強さ」や「カッコよさ」をアピールする「積極的な広報」が展開されている。近年は、研究対象を映画から広報イベントまで広げ、SNS等での発信も含めたメディア全般の広報効果に注目している。

また、2023年度からは科研費基盤B「富士山とナショナリズム」の研究代表者として、日本の近現代史において富士が果たしてきたナショナルな作用に注目し、国内・国外の文化政策あるいはメディア産業における事例やカルチュラル・ポリティクスについて、学際的・実証的に分析・考察している。2026年には、同テーマでの展覧会を開催予定である。



自著(単著・共著)の一部

産学連携・社会連携へのアピールポイント

NHK幼児番組ディレクター、神奈川県逗子市文化教育ゾーン非常勤事務嘱託などの実務家経験を持ち、さまざまなメディアイベントや文化教育施設の立ち上げに携わってきた。また、新聞社との連携授業、中韓の研究者を招いての特別講義の企画など、「メディア・子ども・教育」に関する連携に助言・貢献が可能である。

研究者総覧（須藤 遙子）

URL : https://gyoseki.setsunan.ac.jp/html/200000672_ja.html

